

2024年10月21日(月)~2024年11月8日(金)

第3回 博学カフェ ポスター募集要項

2024年9月

昨年度に引き続き、今年度も博士前期課程・博士後期課程に在籍する希望者全員を対象に、大学内の学術情報センター2階と学館2階にてポスター展を開催いたします。

[目的]

奈良女子大学の博士後期課程進学希望者を増加させること。学生間の交流。

[展示場所・日時]

奈良女子大学 学術情報センター2階スロープ下スペース: 10月21日(月)~10月30日(水)

奈良女子大学 学館2階フリースペース: 11月2日(土)~11月8日(金)

[ポスター提出期日]

2024年9月24日(火)~2024年10月9日(水) 24:00まで 延長

[ポスター詳細]

- ・サイズ: A2サイズ、縦向き (420mm×594mm)、1人1枚まで
- ・フォーマット: A2サイズに収める範囲で自由
- ・下記の展示例を参考にしてください。

*昨年度の様子と、ポスターサンプルを下に添付しております。

- ・提出ファイル: PDFファイルにて、提出をお願いいたします。

なお、ファイル名は、”[名前 ※カッコは外す]_博学カフェ 2024.pdf“ でよろしくをお願いいたします。

・提出先: Google Form への提出をお願いいたします。以下のフォームに必要事項をご記入の上、提出ください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeCfYn4nu1WcD-OJle4Wpyim7l7V7VmImWLxTSOsgmRlPkb0A/viewform?usp=sf_link

[印刷方法]

実行委員会にて、いただいたデータを印刷します。

ご自分で印刷されたい場合は、事前にご連絡ください。

[賞について]

今回はポスター賞として、来場者全員の意見を反映する「コメント賞」、「興味深かったで賞」、「勉強になったで賞」、「もっと知りたいで賞」と、大学の先生から投票していただき決定する「研究科長賞」の計5

つの賞を設けます。なお、研究科長賞には副賞としてジョシカチャージを賞与します。下級生に博士後期課程に関心を寄せてもらう目的で、研究はもちろんのこと、ドクター学生の生活の紹介も発表対象として認めています。総合的な観点で、見る人にわかりやすく伝えられているか、以下の点に留意して選考します。

- 1) 発表内容を的確に表すタイトルであるか
- 2) 発表の目的や背景が十分表現できているか
- 3) オリジナリティーが明確に提示されているか
- 4) 専門家以外にもわかるように配慮されているか
- 5) 視覚的要素（レイアウト・デザイン等）に工夫があるか

今回の博学カフェでも、自分の遂行している研究の面白さを伝えられる成果発表の場にしたいと考えております。また、この機会に博士後期課程の学生生活を知ってもらい興味を持ってもらえるよう、カジュアルなイベントにしたいと考えております。さらに、今回は学祭期間にポスター展示を予定しているため、学外の方にも奈良女子大学で行われている研究活動に興味を持っていただけるようにしていけたら嬉しいです。

みなさんのご応募、お待ちしております！

- 主催：博・学・カフェ 2024 運営
- お問い合わせ：nwu.hakugaku.cafe.2024@gmail.com

[去年の様子]



[ポスターサンプル]

奈良女子大学大学院 博士後期課程 △△専攻 ○○○○



研究内容: 鹿の生態について

■ 概要

奈良女子大学界隈の鹿の生態を観察している。主に来ている群れはオスの集団であり、奈良女子大学の雑草を主食とする。この群れの一年間の動きには規則があり、その研究を学部生のころから行ってきた。



■ 方法

毎朝9時に大学の正門から講堂や体育館の方を回り、G棟から出てきたら記念館や池の周辺を観察する。最後にS棟の周辺を一周する。同様の観察を昼13時と夕方18時に行う。

また毎週水曜日は奈良公園近辺の鹿と東大寺周辺の鹿の観察を行い、奈良女子大学に来る鹿の群れとの違いを観察する。



■ これまででわかったこと

奈良女子大学に来る鹿は、奈良公園や東大寺周辺の鹿に比べて人慣れしていない傾向が見受けられる。また食べ物も雑草ばかりだからか、すっきりした体型である。



■ これからさらに研究したいこと

奈良女子大学に来る鹿の群れの最も大きな特徴は全て雄であるということである。またこの群れの構成はここ数年ほとんど変わったことはない。

このことから考えてみたいことは、鹿は人間に対して男女の見分けがつかぬかどうかである。



またこれらの群れは繁殖期にどのような動きをするのかももう少し深く観察したい。可能であれば鹿愛護会の協力を得て、奈良女子大学に来る鹿の群れの行動追跡をしたいと思う。

・ 博士課程に進んだ理由
鹿のプロフェッショナルになりたかったから

・ 博士課程に進んで大変だなと思うこと
自分で勉強していかないといけないので、自己管理が大変

・ 博士課程に進んでよかったこと
様々な研究機関の人と知り合えたり、そのような人たちと共通の話ができること。

・ 博士課程に興味を持っている学生にかけられる言葉
博士課程は決して遠い存在のものではありません。学問の楽しさを博士課程ですらに極めませんか？